

(トップページ: <http://members3.jcom.home.ne.jp/3632asdm/> )

(MENAランキングシリーズ: <http://members3.jcom.home.ne.jp/3632asdm/MENAranking.html> )

マイライブラリー:0324

(注)本稿は2014年9月9日から25日まで7回にわたり「アラビア半島定点観測」に掲載したレポートをまとめたものです。

2014.9.26  
前田 高行

## MENA(中東・北アフリカ)諸国の「世界競争力ランキング」(2014-2015年版)(1)

(MENA なんでもランキング・シリーズ その15)

目次	頁
1. 「世界競争力レポート」について	2
2. MENA17カ国の世界競争力ランキング	2
3. 過去5回の順位の推移	
3-1. MENA 各国の順位の変遷	3
3-2. 主要3カ国と米国・日本・中国の比較	4
4. MENA の分野別競争力	5
5. 主要国の分野別競争力(レーダーチャート)	7

中東北アフリカ諸国は英語の Middle East & North Africa の頭文字をとって MENA と呼ばれています。MENA 各国をいろいろなデータで比較しようと言うのがこの「MENA なんでもランキング・シリーズ」です。「MENA」は日頃なじみの薄い言葉ですが、国ごとの比較を通してその実態を理解していただければ幸いです。なお MENA の対象国は文献によって多少異なりますが、本シリーズでは下記の19の国と1機関(パレスチナ)を取り扱います。(アルファベット順)

アルジェリア、バハレーン、エジプト、イラン、イラク、イスラエル、ヨルダン、クウェイト、レバノン、リビア、モロッコ、オマーン、パレスチナ自治政府、カタール、サウジアラビア、シリア、チュニジア、トルコ、UAE(アラブ首長国連邦)、イエメン、

これら19カ国・1機関をおおまかに分類すると、宗教的にはイスラエル(ユダヤ教)を除き、他は全てイスラム教国家であり OIC(イスラム協力機構)加盟国です。なおその中でイラン、イラクはシーア派が政権政党ですが、その他の多くはスンニ派の政権国家です。また民族的にはイスラエル(ユダヤ人)、イラン(ペルシャ人)、トルコ(トルコ人)以外の国々はアラブ人の国家であり、それらの国々はアラブ連盟(Arab League)に加盟しています。つまり MENA はイスラム教スンニ派でアラブ民族の国家が多数を占める国家群と言えます。

第15回のランキングは、「世界経済フォーラム」(World Economic Forum, 略称 WEF)が発表した「Global Competitiveness Report 2014-2015」(世界競争力レポート)について MENA 諸国をとりあげて比較しました。

\* WEF ホームページ:

<http://www.weforum.org/reports/global-competitiveness-report-2014-2015>

## 1. 「世界競争力レポート」について

「世界競争力レポート(Global Competitiveness Report)」は、毎冬スイスで開催される「ダボス会議」の主催者として世界に名を知られている「世界経済フォーラム」が2001年から毎年発表しているレポートであり今回で第14回目となる。第1回レポートの対象国は75カ国であったが、その後対象国は増え今回は144カ国となっている。MENA の対象国は17カ国であり、評価対象外となっている国はシリア、イラク及びパレスチナ自治政府である。

このランキングは、一般に入手可能な公表データと、WEF が報告対象各国の提携機関とのネットワークで行っている包括的年次調査「エグゼクティブ意見調査」の結果から算出されている。ちなみに日本の提携機関は慶応大学、経済同友会である<sup>1</sup>。

「世界競争力レポート」の総合的な競争力ランキングはコロンビア大学のザビエル・サラ＝イ＝マーティン教授が開発し2004年に導入された世界競争力指数(Global Competitiveness Index, GCI)が用いられている。GCIは競争力に関する12の分野をもとに設計されており、世界の国々のすべての発展段階における競争力の全体像を示している。

12分野とは、①制度機構(Institutions)、②インフラ(Infrastructure)、③マクロ経済の安定(Macroeconomic stability)、④保健および初等教育(Health and primary education)、⑤高等教育及び訓練(Higher education and training)、⑥商品市場効率(Goods market efficiency)、⑦労働市場効率(Labor market efficiency)、⑧金融市場の洗練度(Financial market sophistication)、⑨技術的即応性(Technological readiness)、⑩市場規模(Market size)、⑪ビジネスの洗練度(Business sophistication)及び⑫イノベーション(Innovation)である。

## 2. MENA17カ国の世界競争力ランキング (末尾表 15-T01 参照)

2014-2015年競争力ランキングではMENA19か国のうち17カ国がランク付けされている。トップは昨年のカタールに代わりUAEであった。同国は世界144カ国中の12位に評価されている。UAE に続く MENA2位のカタールは世界順位16位、続いてサウジアラビア(世界24位)、イスラエル(同27位)である。以下イスラエルとは少し順位が離れ、クウェイト(同40位)、バハレーン(同44位)と続いている。これら MENA 上位6カ国のうちイスラエルを除く5カ国は GCC(湾岸協力機構)加盟国である。GCC 諸国は石油・天然ガスの富により MENA 域内では突出した競争力を持っていることがわかる。

MENA7位以下はトルコ(世界45位)、オマーン(同46位)、ヨルダン(同64位)、モロッコ(同72位)と続き、以上の8カ国が全世界144カ国中の上位グループに入っている。なお MENA17カ国の平均順位は67位であり、MENA 地域の競争力は世界平均を少し上回っていると言えよう。

MENA11位以下はアルジェリア(世界79位)、イラン(同83位)、チュニジア(同87位)までが世界100位以内であるが、その他の国々はレバノン(同113位)、エジプト(同119位)、リビア(同126位)、イエメン(同142位)といずれも世界100位以下であり、特にイエメンは144ヶ国中の最下位グループのランクである。なお最初にも書いたとおりイラク、シリア及びパレスチナ自治政府はランク付けされていない。

因みに世界ランク1位はスイスであり、2位はシンガポール、3位米国である。日本はフィンランド、ドイツに次いで世界6位にランクされている。韓国は26位、中国28位であり、サウジアラビア或いはイスラエルとほぼ同じランクである。またロシアはトルコやオマーンより低い53位、インドは世界71位で世界のほぼ平均的な水準にある。

今回の世界順位を前回のそれと比較すると、UAE が前回の19位からランクを7つあげている。その一方、前回1位のカタールは世界ランクを3つ落としており、サウジアラビアもMENAでは引き続き3位であるが世界ランクは20位から24位へと4ランク下落している。このほかランクが大きく下がった国は、オマーン(33位→46位)、レバノン(103位→113位)、リビア(108位→126位)などである。

このように MENA 諸国は今回順位を下げた国が多く、MENA の平均世界順位も66位から1ランク下がり67位となっている。

### **3. 過去5回の順位の推移**

#### **3-1 MENA 各国の順位の変遷(第10回～第14回) (末尾表 15-T02 参照)**

第10回(2010-2011年)から第14回(2014-2015年)までの競争力ランクの推移を見ると、過去4回 MENA のトップであったカタールが2位に転落、代わって UAE が今回トップになった。UAE の世界順位は第10回の25位が第11回には27位に下がったが、その後は24位→19位→12位へと毎回大きく躍進しており20位以内が定着したと考えられる。カタールは過去5回世界の10位台を維持しており競争力の評価は高い。ただし前々回(2011-2012年)の11位をピークに前回13位、今回16位と低落傾向が見られる。

サウジアラビアは第13回までは UAE を上回る順位であったが、過去5年間を通じて21位→17位→18位→20位→24位と20位前後で定着した感がある。カタール、UAE 及びサウジアラビアはいずれも湾岸の有力産油(ガス)国であり、近年石油・天然ガス価格が高水準で推移しているため豊かな財政力にものを言わせて産業基盤の整備、外資誘致などに積極的であり競争力の評価が高

まっっていると言えよう。

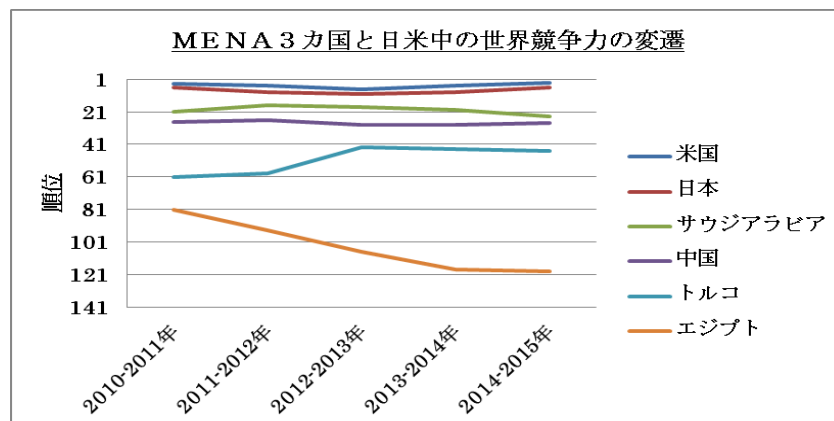
その他の GCC3カ国(クウェイト、バハレーン、オマーン)も5年間を通じて常に世界50位以内に入っている。但しこれら3カ国は5年前の順位と比較するとそれぞれクウェイトは35位→40位、バハレーンは37位→44位、オマーンは34位→46位と順位を下げている。特にバハレーンとオマーンは過去3年を見ると35位→43位→44位、オマーンも32位→33位→46位と大きく順位を下げている。両国は GCC6カ国の中では2011年の「アラブの春」の影響を最も強く受けており、そのことが順位下落の要因であると言えよう。

MENA の大国であるトルコ、イランおよびエジプトの3カ国を比較すると、第10回(2010-2011年)はトルコ61位、イラン69位、エジプト81位であった。トルコはその後59位→43位→44位→45位と40位台前半で安定して世界の上位グループにいる。これに対してイランは第12回までは60位台を維持していたが、その後の2回は82位、83位と急落し世界の低位グループに転落している。エジプトの場合は第10回の81位から第11回には94位に下落、さらに第12回以降は世界100位以下に転落し今回は119位にとどまっている。「アラブの春」以降も政局が安定せず、最近ようやく軍事政権により落ち着きを取り戻しつつあるように見えるが、軍事政権に対する評価を含め外国が見るエジプトの対外競争力の評価は極めて厳しいと言うべきであろう。

「アラブの春」のきっかけとなったチュニジアは政変前と直後の3年間は40位→32位→40位と比較的安定していたが、第12回は評価対象外とされ、評価が再開された前回以降は83位→87位と大幅に下がったままである。

MENA 諸国はここ数年競争力順位を下げた国が多く、世界における MENA の平均順位も第10回の54位から58位→62位→66位→67位と毎年ダウンしている。調査対象国の数が各回毎に異なるため単純には比較できないが、第10回の場合には139カ国中の54位に対し第14回は144カ国中の67位であり、MENA の世界における競争力が落ちていることは明白である。

### 3-2 主要3カ国と米国・日本・中国の比較



MENA の経済大国であるサウジアラビア、トルコ、エジプト3カ国と米国、日本、中国の過去5回の競争力順位を比べてみる。

米国の第10回(2010-11年)の順位は世界4位であったが、5年間の順位は4位→5位→7位→5位→3位と2012-13年に7位まで下がった後は2年連続して順位を上げ今回は過去5年で最高のベスト・スリーに入っている。日本は6位→9位→10位→9位→6と5年連続して

ベスト10に入っており、第10回を底として今回は5年前の順位に戻っている。日米がともに最近順位を上げているのは、EU 諸国の競争力が相対的に低下しているためと考えられる。

サウジアラビアは5年間を通じて20位台前半と10位台後半の間を上下している。ただし第11回(2011-2012年)の17位をピークとしてその後4年連続して順位を下げている点が問題であろう。これに対して中国は27位→26位→29位→29位→28位とコンスタントに20位台の後半である。この結果サウジアラビアと中国のランク差は縮小している。

トルコとエジプトはここ5年間明暗を分けている。第10回(2010-2011年)の順位はトルコ61位、エジプト81位であったが、トルコはその後59位→43位→44位→45位と順位を上げており、最近では40位台後半に定着している。これに対してエジプトは第10回の81位以降94位→107位→118位と急速に順位を下げ、100位以下になっている。今回も119位にとどまっておりトルコとの競争力の格差は大きく開いている。同国は「中東の春」によるムバラク軍事独裁政権からムルシ・イスラム主義政権に交代したが、ムルシ政権の失政により経済が混乱、再びシーシ軍事政権に逆戻りしている。経済は漸く落ち着きを取り戻したかに見えるが今後の予断は許さない。エジプトが更なる競争力の低下を余儀なくされるのか、それとも今回を底に競争力を回復するのか、注視する必要がある。

#### **4. MENAの分野別競争力** (末尾表 15-T03 参照)

冒頭に触れた通り世界競争力指数は「制度機構」から「イノベーション」まで12の分野について世界144カ国を順位付けている。各分野毎の MENA 各国の世界順位は概略以下のとおりである。

##### (1) 制度機構(Institutions)

MENA トップはカタールで世界順位は4位、同国に次ぐのは UAE(世界7位)であり、この両国は世界トップレベルである。MENA3位以下は、オマーン(同24位)、サウジアラビア(同25位)、バハレーン(同29位)であり、これら GCC 諸国は世界的に見ても高い水準である。但し同じ GCC 構成国でもクウェイトは世界55位であり6カ国の中では見劣りがする。

(参考: 日本11位、米国30位、中国47位)

##### (2) インフラ(Infrastructure)

UAE は世界3位であり非常に評価が高い。これに次ぐのがカタール24位、サウジアラビア30位、バハレーン31位、オマーン33位であり、MENA 諸国の中では UAE が飛び抜けている。

(参考: 日本6位、米国12位、中国46位)

##### (3) マクロ経済環境(Macroeconomic environment)

カタールが世界2位。以下クウェイト(3位)、サウジアラビア(4位)、UAE(5位)、オマーン(6位)である。GCC の5カ国が世界の2位から6位を占めている。これら各国に続くのがアルジェリア(11位)、リビア(41位)、バハレーン(47位)である。GCC6カ国は国家財政の大半を石油収入に依存しており、いずれも絶対君主制国家という共通点がある。原油価格が高い水準を保ち、さらに

「アラブの春」の民主化運動の中でもバハレーン以外は動揺が少なかったことが評価されている。これに対してイエメン(140位)、エジプト(141位)、レバノン(143位)などは世界144カ国中の最低ランクにとどまっている。

(参考:中国10位、米国113位、日本127位)

(4) 保健および初等教育(Health and primary education)

この分野では世界28位のカタールがMENAトップである。これに次ぐのはレバノン(30位)、UAE(38位)、バハレーン(40位)である。一方、エジプト(97位)、イエメン(116位)、リビア(119位)など世界ランクの低い国も少なくなく、MENA 諸国の間にはかなりの格差がある。

(参考:日本6位、米国49位、中国46位)

(5) 高等教育及び訓練(Higher education and training)

MENAトップはUAE(世界6位)でMENA 諸国の中では飛びぬけて高い。これに次ぐのがイスラエル(同36位)、カタール(38位)、ヨルダン(48位)、トルコ(50位)である。リビア(102位)、モロッコ(104位)、エジプト(111位)、イエメン(1139位)の4カ国はこの分野の順位が100位以下である。

(参考:米国7位、日本21位、中国65位)

(6) 商品市場効率(Goods market efficiency)

この分野ではUAE(世界3位)及びカタール(同4位)の2カ国が世界のトップレベルに評価されている。これら2カ国に続くのがバハレーン(21位)、オマーン(28位)でGCCの4カ国が上位を占めている。同じGCC加盟国であるがクウェイトは世界106位と非常に低い。地域の大国トルコ、イラン、エジプトの順位はそれぞれ43位、120位、118位である。

(参考:日本12位、米国16位、中国56位)

(7) 労働市場効率(Labor market efficiency)

世界8位のUAEがMENAトップである。カタール(世界10位)、バハレーン(同26位)、オマーン(同48位)がこれに続いている。MENAのこの分野における世界順位は概して低く、イラン(142位)、エジプト(140位)、アルジェリア(139位)、イエメン(138位)、リビア(133位)など世界148カ国の中でも最低クラスの国が多い。このためMENAの平均順位は95位であり12の指標の中では最も低い。

(参考:米国4位、日本22位、中国37位)

(8) 金融市場の洗練度(Financial market sophistication)

MENAではカタールが最も洗練された金融市場と評価されており世界13位である。そのほかではUAE(世界17位)、イスラエル(20位)などが世界競争力の高い国とされている。金融活動が活発なバハレーンは31位である。

(参考:米国9位、日本16位、中国54位)

(9) 技術的即応性(Technological readiness)

この分野では世界ランク15位のイスラエルが MENA トップである。続いて UAE(世界24位)、カタール(同31位)、バハレーン(34位)、サウジアラビア(45位)と続いている。一方、イラン、アルジェリア、リビア及びイエメンは世界100位以下である。

(参考:米国16位、日本20位、中国83位)

#### (10)市場規模(Market size)

市場規模の競争力ランクではトルコが世界16位、サウジアラビア20位、イラン21位、エジプトが29位である。この指標は人口規模と密接に関係しており、MENA の人口大国が上位に並んでいる。これに対して UAE(46位)、カタール(59位)、クウェイト(67位)など湾岸産油国は一人当たりの購買力は高いが、人口の絶対数が少なく、市場規模の競争力は高くない。

(参考:米国1位、中国2位、日本4位)

#### (11)ビジネスの洗練度(Business sophistication)

カタールが MENA 1位(世界12位)であり、これに続くのが UAE(14位)、イスラエル(26位)、サウジアラビア(30位)である。一方、イラン(110位)のように経済制裁を受けている国は、欧米の経営ノウハウの流入が遅れており、洗練度が低く競争力は見劣りすると評価されている。

(参考:日本1位、米国4位、中国43位)

#### (12)イノベーション(Innovation)

イスラエルは世界3位であり、技術先進国としての評価が定着している。同国に次ぐ MENA 2位はカタール(世界14位)、以下 UAE(24位)、サウジアラビア(33位)であり、MENA 1位のイスラエルと3位以下の格差は大きい。なお GCC 加盟国の中でクウェイトは111位と際立って評価が低い。リビアは世界最下位であり、イエメン、エジプト、レバノンなど100位以下の国も少なくない。アラブ諸国はイノベーション分野では後進地域と見なされているようである。

(参考:日本4位、米国5位、中国32位)

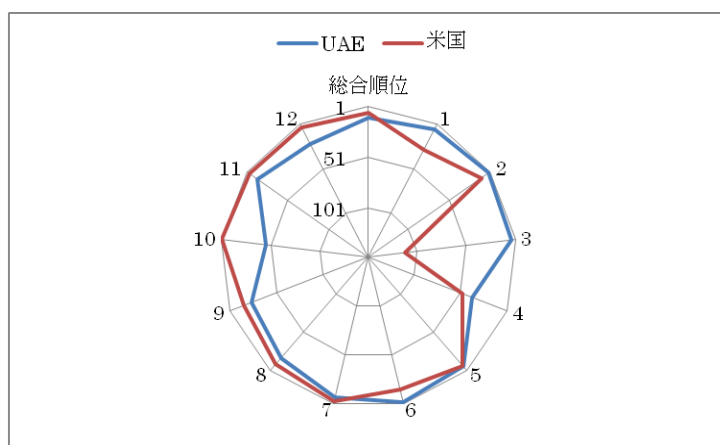
### 5. 主要国の分野別競争力(レーダーチャート)

MENA の主要4カ国(エジプト、トルコ、サウジアラビア及び UAE)と日本、米国、中国の分野別競争力を比較してみる。ここではこれら7か国を総合世界ランクが近い国同士で3つのグループに分け、レーダーチャート図によって各国の競争力の特徴を比較検討する。

レーダーチャート図は最も外側が世界順位1位であり内側の中心は世界150位である。また最上段の総合順位以下時計周りの1から12の数字は各分野を示している。各分野の世界順位を結ぶ輪が各国の状況である。レーダーチャートの輪が外側に広がっているほど世界での順位が高く、また輪の形が円に近いほど各分野で平均した競争力があることを示している。



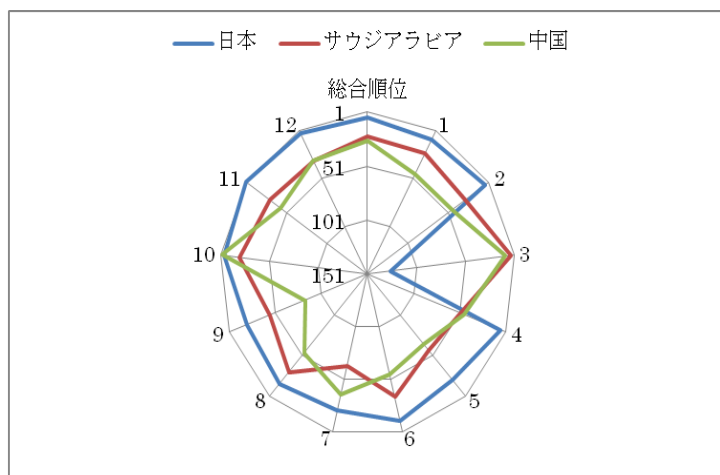
### (1)UAE と米国の比較



まず米国(総合世界7位)とUAE(総合世界12位)を比較すると、米国は「3. マクロ経済の安定性」が大きく落ち込んでいるが、その他の6項目は世界のベスト・テンに入っており、3項目がベスト20位である。これに対してUAEは「1. 制度機構」、「2. インフラ」、「3. マクロ経済の安定性」、「5. 高等教育及び訓練」、「6. 商品市場効率」、「7. 労働市場効率」の5項目が世界10位以内であり米国と遜色がない。さらにすべての項目が世界50位以内であり全体としては均衡のとれた競争力を示している。

0位以内であり米国と遜色がない。さらにすべての項目が世界50位以内であり全体としては均衡のとれた競争力を示している。

### (2)サウジアラビアと日本、中国の比較



次に日本とサウジアラビアと中国を比べると総合順位はそれぞれ6位、24位、28位である。日本は12項目のうち「3. マクロ経済の安定性」が世界127位と極めて低い。これは日本の国債の対GDP比率が世界で最も高く200%を超えていることが主な理由であると考えられる。このほか「10. 市場規模」の項目で中国(世界2位)の後塵を拝しているが、それ以外の項目

目ではサウジアラビア或いは中国を大きく引き離している。

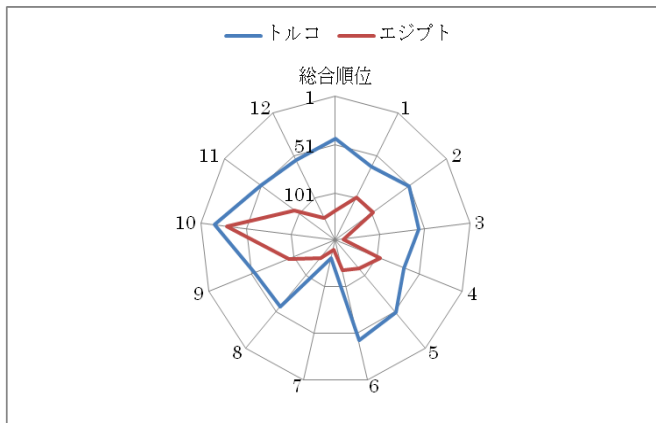
中国がサウジアラビアを上回っているのは「4. 保健及び初等教育」、「7. 労働市場効率」及び「10. 市場規模」の3項目だけであり、その他の9項目はサウジアラビアが中国を上回っている。市場規模の格差については説明するまでもないが、労働市場効率に関しては、サウジアラビアでは宗教上の制約により女性の就労率が低いため市場効率が悪いとされているのである。一方、サウジアラビアは「1. 制度機構」では世界25位で中国(47位)を上回り、また「8. 金融市場の洗練度」では30位対54位、「9. 技術的即応性」は45位対83位などサウジアラビアが中国より優れている項目がある。

### (3)トルコとエジプトの比較

トルコとエジプトは共に人口7千~8千万人を有するMENAの大国である。両国の総合ランクはトルコ45位、エジプト119位と大きな格差がある。トルコは「7. 労働市場効率」が世界131位と極めて低いが、その他のほとんどの項目は50位前後で世界の上位グループに入っている。これに対し



てエジプトは12項目中の8項目が世界100位以下、その他3項目も90位台に低迷しており、「10.市場規模」だけが世界上位の29位である(同項目のトルコの順位は16位)。エジプトは人口規模



のみが競争力として評価され、その他の項目は極めて低いのに対しトルコは新興工業国として種々の側面で競争力が評価されていると考えられる。

(完)

本稿に関するコメント、ご意見をお聞かせください。

前田 高行 〒183-0027 東京都府中市本町 2-31-13-601  
Tel/Fax; 042-360-1284, 携帯; 090-9157-3642  
E-mail; maeda1@jcom.home.ne.jp

### 世界競争力ランキング

国名	2014-2015 年		2013-2014 年		前回との世界順位比較
	世界順位	MENA 順位	世界順位	MENA 順位	
UAE	12	1	19	2	7
カタール	16	2	13	1	-3
サウジアラビア	24	3	20	3	-4
イスラエル	27	4	27	4	0
クウェイト	40	5	36	6	-4
バハレーン	44	6	43	7	-1
トルコ	45	7	44	8	-1
オマーン	46	8	33	5	-13
ヨルダン	64	9	68	9	4
モロッコ	72	10	77	10	5
アルジェリア	79	11	100	13	21
イラン	83	12	82	11	-1
チュニジア	87	13	83	12	-4
レバノン	113	14	103	14	-10
エジプト	119	15	118	16	-1
リビア	126	16	108	15	-18
イエメン	142	17	145	17	3
イラク	-	-	-	-	-
パレスチナ自治区	-	-	-	-	-
シリア	-	-	-	-	-
MENA 平均	67	-	66	-	-1
世界 1 位	スイス	-	スイス	-	-
最下位	ギニア	-	チャド <sup>d</sup>	-	-
日本	6	-	9	-	3
米国	3	-	5	-	2
ドイツ	5	-	4	-	-1
中国	28	-	29	-	1
韓国	26	-	25	-	-1
インド	71	-	60	-	-11
ロシア	53	-	64	-	11

Source: The Global Competitiveness Report by World Economic Forum (WEF)

**世界競争カランクの推移**

	第 10 回 (2010-2011 年)	第 11 回 (2011-2012 年)	第 12 回 (2012-2013 年)	第 13 回 (2013-2014 年)	第 14 回 (2014-2015 年)
UAE	25	27	24	19	12
カタール	17	14	11	13	16
サウジアラビア	21	17	18	20	24
イスラエル	24	22	26	27	27
クウェイト	35	34	37	36	40
バハレーン	37	37	35	43	44
トルコ	61	59	43	44	45
オマーン	34	32	32	33	46
ヨルダン	65	71	64	68	64
モロッコ	75	73	70	77	72
アルジェリア	86	87	110	100	79
イラン	69	62	66	82	83
チュニジア	32	40	-	83	87
レバノン	-	89	91	103	113
エジプト	81	94	107	118	119
リビア	100	-	113	108	126
イエメン	-	138	140	145	142
イラク	-	-	-	-	-
パレスチナ自治区	-	-	-	-	-
シリア	97	98	-	-	-
MENA 平均	54	58	62	66	67
調査対象国数	139	142	144	148	144
日本	6	9	10	9	6
米国	4	5	7	5	3
中国	27	26	29	29	28

Source: The Global Competitiveness Report by World Economic Forum (WEF)

<http://reports.weforum.org/global-competitiveness-report-2014-2015/>

**2014－2015年世界競争力ランキング(項目別)**

総合順位	国名	Institutions	Infrastructure	Macroeconomic environment	Health and primary education	Higher Education and training	Goods market efficiency
12	UAE	7	3	5	38	6	3
16	カタール	4	24	2	28	38	4
24	サウジアラビア	25	30	4	50	57	35
27	イスラエル	43	34	50	44	36	79
40	クウェイト	55	61	3	82	81	106
44	バハレーン	29	31	47	40	55	21
45	トルコ	64	51	58	69	50	43
46	オマーン	24	33	6	54	79	28
64	ヨルダン	37	71	131	47	48	40
72	モロッコ	49	55	66	76	104	58
79	アルジェリア	101	106	11	81	98	136
83	イラン	108	69	62	52	78	120
87	チュニジア	81	79	111	53	73	107
113	レバノン	139	122	143	30	67	71
119	エジプト	100	100	141	97	111	118
126	リビア	142	113	41	119	102	139
142	イエメン	141	142	140	116	139	131
67	(平均)	68	66	60	63	72	73
参考							
6	日本	11	6	127	6	21	12
28	中国	47	46	10	46	65	56
3	米国	30	12	113	49	7	16

(続き)

総合順位	国名	Labor market efficiency	Financial market sophistication	Technological readiness	Market size	Business sophistication	Innovation
12	UAE	8	17	24	46	14	24
16	カタール	10	13	31	59	12	14
24	サウジアラビア	64	30	45	20	30	33
27	イスラエル	59	20	15	48	26	3
40	クウェイト	116	77	74	67	76	111
44	バハレーン	26	31	34	99	45	60
45	トルコ	131	58	55	16	50	56
46	オマーン	48	28	57	73	58	64
64	ヨルダン	94	66	73	88	42	41
72	モロッコ	111	69	76	56	78	90
79	アルジェリア	139	137	129	47	104	120
83	イラン	142	128	107	21	110	86
87	チュニジア	129	117	90	64	88	99
113	レバノン	123	102	86	76	75	119
119	エジプト	140	125	95	29	95	124
126	リビア	133	144	130	85	135	144
142	イエメン	138	143	136	83	120	143
67	(平均)	95	77	74	57	68	78
参考							
6	日本	22	16	20	4	1	4
28	中国	37	54	83	2	43	32
3	米国	4	9	16	1	4	5

Source: The Global Competitiveness Report 2014-2015 by World Economic Forum (WEF)

<sup>1</sup> WEF レポート Partner Institute より

<http://www.weforum.org/content/pages/partner-institutes-2012-2013>